

“わたしのまち”

北区

電車に会えるまち、北区

「今日は電車に会いに行こう！」

北区は、新幹線から地下鉄や都電まで多彩な路線が行き交う「鉄道のまち」です。区内には、都電と新幹線が見られるめずらしい風景など、鉄道ビュースポットがいっぱい。区では、そうした場所をめぐるのに便利なマップを区民や鉄道好きな中学生・高校生たちと協力して制作し、発行しています。



東京北部の交通の要となるまち

北区は、鉄道とゆかりの深いまちです。区内には、京浜東北線、埼京線、山手線、宇都宮線、高崎線、湘南新宿ラインとJRの駅も多く、また、新幹線や地下鉄の東京メトロ南北線、都内では唯一残る路面電車の都電荒川線が走るなど多彩な路線が行き交っています。北区は、江戸時代より主要街道の中山道や日光御成道が整備されるなど、古くから交通の要衝でした。明治に入ると政府によって鉄道網の整備が進められました。当時、東京から京都を結ぶ東海道ルートと中山道ルートが立案されましたが、海運と競合しない中山道ルートの鉄道建設が優先して行われました。

明治16年に、日本初の私鉄である日本鉄道が上野・熊谷間に中山道鉄道を敷設し、王子駅が開業しました。これが区内を走るはじめての鉄道となりました。開業当時は午前と午後の一往復でしたが、王子神社の大祭が行われる8月と飛鳥山の桜でにぎわう4月には、臨時列車が走っていたそうです。その後、山手線のルートとなった品川線の赤羽駅や、田端駅など主要駅が続きと誕生し、現在では埼京線や南北線の開業によって、区内の鉄道網の整備はさらに進んでいます。一方、かつて41路線あり、主要交通網として東京中を走っていた都電は、今では唯一、区内を走る荒川線が残る

都電荒川線・梶原停留場近くの和菓子の店「都電もなか本舗 明美」の最中は、都電をかたどったユニークなお菓子が知られている。つぶあんの中に餡餅が入っている。



北区豆知識

- 1 区内にはJRの駅が11あり、23区で一番多い！
※王子、赤羽、田端、駒込、上中里、東十条、十条、板橋、北赤羽、浮間舟渡、尾久駅
- 2 山手線で唯一の踏切が区内にある！
※駒込・田端間の第二中里踏切
- 3 区内の都電荒川線の停留場で一番古いのは王子駅前ではなく、飛鳥山！
※八代将軍徳川吉宗により桜の名所として作り上げられた飛鳥山は、江戸時代からにぎわっていた。
- 4 区内には無料で乗れるモノレールがある！
※区が飛鳥山公園に設置した、あすかパークレール「アスカルゴ」

のみです。王子駅前から飛鳥山間は一般道路の上に線路があるいわゆる本来の姿の路面電車で、自動車と並んで走る姿を見ることができるのは都内では北区だけです。

鉄道に会えるまち

多彩な電車が行き交う区内には、電車を見たり写真撮影ができる「鉄道ビュースポット」がたくさんあります。

田端駅近くにある田端操車場では、さまざまな貨物列車の姿を見ることがができます。隣には新幹線の車両基地である東京新幹線車両センターがあり、今年春に開業した北陸新幹線をはじめ、東北・上越・秋田新幹線の車両整備の様子が伺えます。

赤羽駅最寄りの清水坂公園には広々とした芝生広場があり、ここからはさ

つそうと走る埼京線やりんかい線を眺めることができます。

また、上中里駅のさわやか橋は鉄道ビュースポットとして人気の場所です。橋の上からは、JRの車両基地である尾久車両センターと東京スカイツリーを同時に撮影することができます。早朝は上野駅に向かう寝台列車などの撮影ができるのも鉄道好きには嬉しいところです。

春の桜で有名な飛鳥山公園には、平成21年に区が設置したモノレール、あすかパークレール「アスカルゴ」があり、無料で乗ることができます。王子駅と公園頂上との約20mの高低差を解消するために設置されたこのアスカルゴは、乗車時間はわずか2分ですが、飛鳥山公園を訪れる多くの人から親しまれています。

ほかにも北区では、身近な場所で鉄道に親しめます。

都電荒川線・栄町停留場のほど近くにある栄町ふれあい公園には、都電のレールを模した舗装が施されていたり、都電の車庫をイメージしたトイレがあるなど鉄道好きには楽しい公園です。

昭和町3丁目にある昭和町図書館では、JR尾久車両センターと都電荒川

穴場がいっぱい！

王子駅周辺

北区ならではのおすすめ鉄道ビュースポット



鉄道のまち北区は、鉄道風景を撮影するスポットに恵まれています。とくに王子駅のまわりには、都電、JRと一緒に撮影できる場所がいっぱい。「今日は電車に会いに行こう！～親子おさんぽマップ～」を参考に、王子駅周辺のおすすめ鉄道ビュースポットを取り上げました。

王子神社

王子駅前

王子駅

栄町

栄町ふれあい公園

飛鳥山

北とぴあ

区のシンボル、北とぴあ17階の展望ロビーは、北区を一望しつつ新幹線が撮影できる絶景ポイント。

王子駅前歩道橋

都電、京浜東北線が同時に撮影できる。小さい子どもは肩車をしてあげると、電車が目の前で見えて大喜び。

アスカルゴ山頂駅

飛鳥山公園内にあるあすかパークレールの山頂駅からは、アスカルゴと都電が同時に撮影できる。

飛鳥山公園

児童エリアには、昔の都電の車両や機関車D51があり、中に自由に入って遊ぶことができるので、子どもたちに大人気。

飛鳥山公園歩道橋

明治通りにかかる歩道橋からは一般道を走る都電を見ることができ。春には飛鳥山公園の桜をバックに撮影できる。



鉄道のまち北区をPRしようと、区が発行しているさまざまなマップ。北とびあ11階の産業振興課で配布している

線の車両基地がそばにあることにちなみ、鉄道・都電コーナーがあります。鉄道関連約1100点、都電荒川線関連も約30点もの資料がそろえてあり、ここを目的に訪れる人もいるようです。図書館が入っている昭和町区民センターの改修に伴い、平成28年6月1日から平成29年5月上旬まで休館となつてしまいましたが、それに合わせて鉄道・都電コーナーもリニューアルする予定です。

マップ片手に電車を見よう

区は、根強い鉄道人気や、鉄道を見るだけでなく撮影するのを楽しむ「撮り鉄」と呼ばれる人が増えてきていることから、電車を見たり、カメラで撮

影したりするのにおすすめの場所を紹介した便利なマップを発行しています。現在vol.1と2が発行されている「北区鉄道Viewマップ」は、区内の聖学院中学校高等学校の生徒たちと協力して制作されたものです。マップには高校の「旅と鉄道部」と中学の「鉄道研究部」の生徒たちが撮影した写真が使用されており、バラエティに富んだ30か所以上のスポットを紹介した、鉄道好きならではの視点や感性を生かしたつくりになっています。平成25年の発行後には新聞等のメディアで紹介され、近郊はもとより地方からも「上京の際にはぜひ北区を訪れたい」とマップの送付依頼があるほど好評です。

一方、鉄道には詳しくないけれど親子で電車を楽しみたいという方には、「今日は電車に会いに行こう!〜親子おさんぽマップ〜」がおすすめです。親子で思い立ったならさつと行ける、王子駅周辺の鉄道ビュースポットを紹介したマップで、電車を見たり写真に撮ったりするのにぴったりの場所を紹介しているだけでなく、「北区イクメン講座」受講生のご家族の協力のもと、電車さんぽの途中に行きたいお店

として、立ち寄るのにおすすめの飲食店も紹介しており、まち歩きマップとしても利用できます。この親子おさんぽマップも配布後、在庫がすぐになくなるほどの人気ぶりです。区では第2弾（田端駅周辺版）を平成27年度末に、第3弾（地域未定）

を平成28年度に発行予定です。鉄道の魅力を存分に満喫できる北区。区内には、四季を感じられる豊かな自然や地域に根付いたお店など、訪れて楽しい場所がたくさんあります。マップを片手に区内をめぐる小さな電車の旅に出かけてみてはいかがでしょうか。

電車さんぽは、カメラがあるとさらに楽しい

親子で鉄道ビュースポットを訪れたら、ひと味違ったおもしろ写真を撮ってみませんか。ちょっと工夫すれば、オリジナルの素敵な写真が簡単に撮影できます。

撮影の楽しみ方



その1

遠近法を利用してトリック写真に挑戦



その2

タイミングを合わせて電車と一緒に記念撮影



その3

機関車と撮影してタイムスリップ



その4

子どもにカメラをあずけて思わぬベストショット



参考：「今日は電車に会いに行こう!〜親子おさんぽマップ〜」より